

島原市は、人口減少や高齢化が全国平均を上回るペースで推移するなど厳しい状況が続いています が、今こそ島原の持つ個性を生かし、中長期的な発展に向けた取り組みを果敢に実行します。 そのため、重点分野として次の7つの施策を掲げ取り組みを進めます。

7 の施策

- ① 市民目線に立った行財政改革の推進
- ② 産業の振興と島原地域ブランドの確立
- ③ 歴史と文化を生かした観光都市づくりと交流人口の拡大
- ④ 子育てにやさしいまちづくり

めます。

- ⑤ 高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実
- ⑥ 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
- ⑦ 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

施政方針とは…

市政運営に対する基本 的な考え方や、主要な 施策を示したものです

上記の7つの施策をもとに、平成 25 年度に取り組む主な内容を各部門ごとに紹介します

的な情報の掲載・発信を促します。 イスブックや各サイトなどへの積極 た市民対象の講習会を開催し、 **用促進懇話会(仮称)** 電子行政の推進は、 指定管理者制度の活用は、 効果的な運営を目指します。 ITを活用し の設置などに フェ

提案できるよう現行制度の改善に努 などを評価し、 **政評価を活用して行政の施策や運営** サービスの質の向上を目指します。 て効率的な予算編成に反映させます。 民間活力の導入など、さらなる行政 職員提案は、 行政改革は、定員管理の適正化や 「行政評価委員会」による行 幅広い意見を気軽に 事務事業評価と併せ

の導入に努めます。 証明書の早朝発行 平日における各種 組みます。加えて 指し見直しに取り みやすい窓口を日 分かりやすく親し



発にも留意しつつ、 明庁舎の有効活用や大手広場の再開 の見直しに取り組みます 行財政運営の見直しは、 市庁舎建設計画 まず、 有

を図るとともに、 援活動などの周知 守りやごみ出し支 町内会・自治会の 必要性、 活動や自主防災の 島原市がまだす地 高齢者見



援を継続します。加えて、県の交付 域づくり補助金・交付金」による支 活性化を図ります。 業」を活用し、地域コミュニティの 金や総務省の「地域おこし協力隊事

活動を継続します。 講演会、研修会の開催や民間主導の 男女共同参画は、懇話会を中心に、

成に努めます。 ルの講座を新設し、 国際化の推進は、 国際的な人材育 英語の中級レベ

進に向け、半島三市の連携を図ります。 原・天草・長島架橋構想」などの推 半島地域の振興は、 「島原道路」の全線早期整備や「島 地域高規格道

携30周年を迎え、 とは、姉妹都市提 地域公共交通は

バス停上屋の整備 ます。 親善訪問を実施し 福知山市への友好

京都府福知山市 知山への親善訪問 平成14年11

間の改善などを検討します。 促進とともに、ルート設定や運行時

支援方針について検証を行います。 治体連絡協議会」において、今後の 島原鉄道については、「島原鉄道自

小し、経費の縮減 新庁舎の規模を縮 に努めます。 市庁舎の建設は

取り組みます。 を策定した後、基 本設計業務などに なお、基本構想



区を実施します。 地籍調査事業は、 引き続き安中地

ます。 文化振興は、 音楽祭、 文化講座などを開催し 自主文化事業、 美術

実施します。

ます。

などを活用し、交 学生駅伝大会」の開催や新たに整備 した島原市霊丘公園体育館・弓道場 スポーツの振興は、 「平成新山島原

地域スポーツクラ 期待される総合型 くり、健康増進が 地域づくり・人づ 代を超えた交流や ります。また、世 流人口の拡大を図

会ならびに「全国高等学校総合体育大 会」のレスリング競技を開催します。

福祉 ·保健部門

などにより子育てを支援します。 きめ細やかな情報提供、 児童福祉対策は、 各種相談の充実 講座の開催

乳幼児のオムツ代 事業」を引き続き こやか子育て支援 組むとともに、「す 支援事業」に取り などを助成する 「すこやか赤ちゃん また、新たに、



活支援事業などを実施します。 業や訓練等給付事業ならびに地域生 障がい者福祉対策は、介護給付事

システム事業などを実施します。 通機関利用助成事業、 母子自立支援員による相談・指導や 齢者等おむつ費助成事業、緊急通報 等介護見舞金支給事業、ねたきり高 就労支援などに努めます。 ひとり親家庭等対策については、 高齢者福祉対策は、高齢者福祉交 ねたきり老人

員を配置します。 強化するとともに、 よび社会福祉協議会と連携し支援を 低所得者対策は、ハローワークお 新たに就労支援

ブを展開します。

国体の推進は、

各種リハーサル大

ます。 要望を行うとともに、 師確保や診療科目の充実を図るため、 大学や長崎県病院企業団などに対し 看護学校の就学金基金に出資を行い 医療対策は、長崎県島原病院の医 島原市医師会

宅当番医制、 日診療当番医制に 救急医療対策は、 病院群輪番制、 日曜・休日の在 歯科休

児の休日診療事業 も医師会などと共 します。また、小 体制の確保を図り 同で実施し、診療



取り組みます。 業を充実させ、 国民健康保険事業は、 事業の円滑な運営に 疾病予防事

児童までに拡大します。 エンザ予防接種助成の対象を小学校 実施するとともに、 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を 予防接種事業は、定期予防接種や 乳幼児インフル

ます。 と連携しながら、 のフッ素塗布事業などを実施します。 指導事業のほか、むし歯予防のため 感染症対策は、県や関係機関など 母子保健事業は、 適切な対応を図り 健康診査や相談

施政方針

3 環境部門

備に対する補助を実施します。 進や資源物の回収に取り組みます。 また、一般家庭向けの太陽光発電設 環境保全は、より一層の省エネ推

の水質浄化を行います。 法投棄の監視および回収や河川など 生活環境の向上は、野犬捕獲、不

りを広げながら、生ごみの減量化 ほか、生ごみ堆肥化による野菜づく および浄水器購入補助を実施します。 意識改革に取り組みます。 ごみ袋は、「大」・ ごみ減量化は、講習会を実施する 環境衛生は、飲用井戸の水質検査

収の周知に努めま ともに、資源物回 量化につなげると を作製し、ごみ減 加え、新たに「小. 中」の2種類に

す。 し尿処理については、 浄化苑の早

期整備に向け、

計画的に取り組みま

4

農林水産部門

まるごとブランド化」を念頭に各施 る地域資源を一層磨き上げ、 産業の振興は、 「しまばら」 が有す 島原

> の制度や補助事業などを積極的に活 用します。 策を展開します。また、農業で日本 豊かな産地を目指すため、 国・県

整備を推進します。 設や農業用機械の導入、 経営基盤の強化対策は、 農地の基盤 農業用施

す。 者への就農奨励金支給や各種農業者 制度を推進するとともに、新規就農 団体への研修費助成などを実施しま 担い手対策は、「人・農地プラン」

ます。 増設や侵入防止柵の設置に取り組み カラスの捕獲などを強化します。ま た、イノシシ捕獲のための箱ワナの 農作物の被害対策は、イノシシや

畜産関係は、 「第10回全国和牛能

(資源物回収

や広報・宣伝に努 の生産頭数の増加 に向けて、肉用牛 牛」のブランド化 なる日本一の栄誉 て、長崎県勢初と 力共進会」におい に輝いた「長崎和

めます。

に 整備事業を引き続き支援するととも 土山地区ならびに下辻地区の基盤 耕地関係は、三会原地区および宇 大三東地区においても基盤整備

> 連携し推進します。 事業の実施に向け ともに、ため池の 適時、取り組むと や農道の改修は、 た取り組みを県と 農業用用排水路



活用し整備に努めます。 改良施設維持管理適正化事業などを

みを支援します。 に取り組んでおり、 度は、本市で12組織が環境保全活動 農地・水保全管理支払交付金の制 継続的な取り組

島や有明町水之出口地区などの松く林業関係は、松林を守るため、湊 い虫防除対策を実施します。

します。 放流、抱卵ガザミの保護などを推進 などの種苗放流を継続します。また、 の再生や、ヒラメやカサゴ、ガザミ ヒラメやカサゴなどの中間育成後の 水産関係は、有明海において藻場

ビの養殖事業も実施します。 開発に取り組むとともに、 養殖漁業は、新たな加工品の研究 ジオアワ

す。 漁業担い手確保推進事業を実施しま 就業者への奨励金制度や21世紀の 後継者・担い手対策は、 新規漁業

三会漁港、 松尾漁港の高潮対策は、

> います。 湯江漁港は、 消波ブロックの製作などに取り組み、 施設機能保全診断を行

5 商 工 観光部門

業の振興に努めます。 の支援施策などの積極的な活用を促 し、関係機関との連携のもと、 本市の商工業については、 玉 • 県

ます。 アドバイザーの活動により取り組み 振興財団との連携や島原市企業誘致 新たな企業の立地は、 長崎県産業

開拓に対して、新商品開発支援事業 などによる支援を推進します。 業が行う新商品・新技術開発や需要 地場企業については、 市内中小企

の創出や増大に努めます。 時特例交付金などの活用による雇用 創出事業や国の緊急雇用創出事業臨 雇用対策は、企業立地促進・雇

います。 内所の設置・運営に対する支援を行 店街が行うアーケード改修や観光案 空き店舗等活用促進事業の実施や商 中心市街地商店街の活性化対策は

図ります。 金や国・県の融資制度の利用促進を 金融面は、島原市中小企業振興資

展開を図るため、 物産流通は、 島原ブランドの全国 本市産品の知名度

施政方針

します。 の3つを基本の柱として事業を推進 の向上、 新商品の開発、 販路の拡大

的に紹介します。 産品の魅力を積極 展を展開し、 度の向上は、 おいて、「スペシャ さらに、都市圏に 本市産品の知名 本市

ルブランド」とし

ナーの設置に向け取り組みます。 て統一表示した商品を紹介するコー

す。

を使った料理レシピの開発を推進し 品化に取り組むとともに、 出事業を推進し、薬草を使用した商 新商品の開発は、島原市特産品創 市内産品

称)」の設置についても検討し、 もの」としてホームページやフェイ 原ブランドの開発と情報発信基地と 市圏における販売を目指します。 スブックなどを活用した紹介や、都 .体験型本格的農水産物直売所 こての活用を目指します。 販路の拡大は、「島原からのおくり 戦略的施設として、ふるさと村 仮 ま 島

を施工します。 に城下町観光の推進を図ります。 島原城は、 本市特有の財産を活用し 天守閣の耐震補強工事

> 化の有効な手段として全国で人気を は、 博している観光屋台村をはじめ、日 新たな観光素材の発掘に努めます。 松平)との結びつきを検証しながら きながら取り組みます。また、 本の伝統文化が継承され外国人にも 七万石のルーツ愛知県幸田町 人気の高い「観光民宿」を検証しま 新たな取り組みとして、地域活性 なお、築城400周年の記念事業 市民皆様からのご意見もいただ (深溝 松平

内のジオパークをはじめ、 島原半島世界ジオパークは、 済州島ジ

認定を目指します。 界ジオパークの再 年であるため、世 オパークや香港ジ に一度の再審査の また、今年は4年 連携に努めます。 オパークなどとの



みを行います。 長崎ルートの開業を見据えた取り組 対策を推進し、さらに、 との九州横軸連携を図りつつ、誘客 九州新幹線効果により熊本市など 九州新幹線

みます。 やコンベンション誘致活動に取り組 り首都圏や関西地域などで修学旅行 観光客誘致事業は、 九州はもとよ

> シャトルバス運行などの施策を展開 ドの活用、観光案内所の充実に努め 観光ボランティアガイドやジオガイ します。 る演武披露や甲冑体験、市内を巡る るとともに、島原城での武将隊によ 観光客の受け入れ態勢には、

ンプ誘致として、 催など、宿泊客の キャンプ誘致やが Jリーグなどの ベンションやキャ まだすリーグの開 スポーツ・コン



します。

拡大やイベントの開催などを進めま や海外からの誘客促進、物産の販売 ロジェクトは、薬草関連商品の開発 島原半島「GAMADASU」プ

が続いておりますが、 や温泉利用量の減少など厳しい状況 力します。 よび維持管理を図り円滑な運営に努 温泉給湯事業は、燃油価格の高騰 施設の整備お

す。

6 まちづくり部門

路の整備は必要不可欠であります。 の整備促進や産業基盤としての幹線道 なまちづくりのためには、生活環境 活力ある地域づくりと安全で快適

ど全線早期完成に 町から有明町間に 業化を要望するな 向け積極的に推進 ついては、 島原道路」 地域高規格道路 補助事 の出平

ます。 の具体的な手法について検討を進め 交通安全施設などの整備を進めます。 船津地区の高潮対策は、県と連携 市道は、歩道のバリアフリー化や 地元と相談しながら抜本的対策

ム工事に要する費用の助成を行いま を行います。さらに、住宅のリフォー の建築物の耐震診断に対しても助成 および病院・店舗・ホテルなど民間 耐震改修計画の作成、 ため、戸建て木造住宅の耐震診断が 工事の21戸の建設を行います。 住宅・建築物の耐震性向上を図る 公営住宅は、萩が丘住宅の第7 耐震改修工事 期

見直し作業を行います。 用途地域および都市計画道路などの 画マスタープラン」の策定と併せて 都市計画は、新たな「島原都市計

三会線の延伸の要望を行います。 整備を計画的に進めるとともに長池 都市計画道路は、 霊南山 ノ神線の

と協働で取り組みます。 の拡充を進めるとともに、 境整備事業によるまちづくりに市民 景観の形成保全は、景観計画地区 街なみ環

めます。 地内についても、利活用の促進に努 協働で取り組むとともに、砂防指定 花いっぱいの街づくりは、 市民と

な手法により事業を検討します。 を勘案し下水道計画のさらなる見直 しを行い、地域の実情に応じた適切 汚水処理対策は、本市の財政事情

消防 防災部門

り・まちづくり」を推進するととも て取り組みます。 政無線のデジタル化への整備に向け え、ハザードマップの作成や防災行 します。また、津波などの災害に備 防災対策は、 災害に強い島原市の実現を目指 「災害に強い人づく

消火栓、防火水槽などの消防施設の 整備拡充を図ります。 消防の体制は、消防車両の整備や

業所などの理解を 図るとともに、事 との連携・協力を 町内会・自治会お については、地元 よび消防団後援会 消防団員の確保



得ながら取り組みます。 自主防災組織は、

救急救命法訓練、役員を対象とした 成に取り組みます。 研修会を開催して、 初期消火訓練や 一層の組織の育

に実施します。 防災避難訓練は、 中央地区を対象

置します。

8 教育部門

ぎ、心豊かで活力ある生涯学習社会 の構築に努めます。 きずな・感謝の心」の精神を引き継 の体験から学んだ「生命(いのち)・ いくことが大事です。噴火災害復興 抜く力を身につけた人材を育成して 教育は、心豊かでたくましく生き

活動を推進します。 きめ細かな指導を充実させて、教育 積極的に取り入れた少人数授業や、 学校教育は、習熟度別学習などを

の育成にも取り組みます。 自然体験活動などを通して豊かな心 します。また、社会奉仕体験活動や かな感性を育む読書活動を一層推進 学校司書と連携し、児童生徒の豊

例の制定に向けて検討します。 止に努めるとともに、いじめ防止条 に心の教室相談員を配置し、未然防 いじめ・不登校問題は、各中学校

手4名を中学校に配置し、また、 国際化への対応は、外国語指導助

> 学校の外国語活動の充実を図るため 併せて、シンガポールへの訪問など 支援教育支援員を全小・中学校に配 を通して国際感覚の醸成に努めます。 に、外国語活動支援員を配置します。 特別支援教育の充実のため、 特別

に行います。 ては、特別活動などにおいても適切 健康の保持増進に関する指導につい して行い、体力の向上および心身の 学校体育は、学校の教育活動を通

は平成24年度で耐 の耐震化について 体育館などの建物 設整備は、校舎・ します。今後は、 震補強工事が完了 小・中学校の施



設計を実施します。 度では、小学校4校、 の耐震化に取り組みます。平成25年 部材の落下防止対策など非構造部材 中学校3校の

学校5校の更新を行います。 教育用コンピュータの整備 は、 小[

り組みます。 化については、モデル校を選定し取 低管理による小学校校庭のエコ芝生 指す地域が一体となった低コスト・ 多世代交流の場としての活用を目

> 運動」の充実などを図ります。 を目的とした「島原市ココロねって 文化財は、松平文庫の整理保存・ 社会教育は、「地域ぐるみの子育て」

原城石垣調査、伝統的建造物群保存 活用、旧島原藩薬園跡整備事業、 対策事業などに取り組みます。

9 水道部門

最終年度となります。 易水道再編推進事業が平成25年度で 有明町簡易水道事業は、 有明町簡

改定を計画しております。 う施設の更新・耐震化による新規水 ならびに各施設構築物の老朽化に伴 度から経営統合および統一料金への 源の開発および取水から配水システ 水道の統合、民営水道区域の取込み ム再構築のための準備を進めます。 水道事業全体としては、 島原市水道事業は、島原地区簡易 平成26年

門の主要な施策です。 以上が、平成25年度における各部

します。 全職員一丸となって、 市民の期待に応えるため全力を傾注 厳しい財政状況の中でありますが 時代の要請と

のご支援とご協力をお願いします。 市民皆様には、 市政の推進に一層